

第84回企画展

普及員～戦後農業・農村の 成長を支えた技術者たち



緑の自転車で普及活動に燃える農業改良普及員
(昭和 25 年岩手町)



緑の自転車からスクーター、バイクへ。
紫波農業改良普及所現地研修 (昭和 37 年)



冷害克服指導班の活動 (昭和 29 年)



かっぼう着姿で生活改善発表 (昭和 20 年代)

令和 2 年 8 月 22 日 (土) ~ 令和 3 年 1 月 14 日 (木)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

敗戦直後の農村課題は、食糧の増産・確保と疲弊した農村の活性化でした。

農林省は、昭和 23 年農業者が真に意義ある農業経営、農家生活が営めるよう援助するため、国と県による協同農業普及事業を発足させ、「農業改良普及員」、「生活改良普及員」が誕生し活動を開始しました。

昭和 24 年に創刊された月間「農業普及」誌等の記録から、普及事業推進のため国や県の担当者、普及員が記録した内容を紹介し、当時の背景・活動の一端を振り返り、現在の農業技術、農村生活を見つめる機会とします。



全県から参集、開催した普及員大会(昭和 40 年)



昭和 24 年 5 月 月間「農業普及」誌 創刊号(左)
岩手県農業改良普及会 改良普及員等が執筆、
令和元年 12 月号が最終号(通算 848 号)

岩手県立農業ふれあい公園

農 業 科 学 博 物 館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間/9:00~16:30(入館は16:00まで)

休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料/一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)があります

駐車場/大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台